

富士市SDGsの課題と取り組み



4 質の高い教育を
みんなに



目標 4

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、
福祉を推進する

富士市の課題

令和4年4月1日にスタートした「富士市子どもの権利条例」は、富士市のすべての子どもが生き生きと学習に向かい、夢を実現できるようにするために制定されたものです。この目標に向けて、富士市の学校では、子どもが「学ぶことが楽しい」と思えるような授業をたくさんできるようにがんばっています。特に今は、パソコンやタブレット端末などを使って、自分の考えや思ったことを自分なりの方法で表現し、友達とかかわりながら「わかった!」「できた!」が生まれる授業を目指しています。みなさんが大人になっても、一生学び続ける力を育てることが大切だと考えています。

また、みなさんがお互いの「ちがい」を認め合い、それぞれの「個性」や「良さ」を生かし合いながら、みんなで自分たちの学校生活をつくり上げていくことも大切にしています。学校が、子どもたち一人ひとりにとって安心して、自分らしく過ごすことのできる居場所になるように努力していきます。



ICTを活用した授業



小中合同運動会

富士市の取り組み

富士市では早くから、パソコンやタブレットを使った授業に力を入れ、みなさんが学びやすく、先生たちも働きやすい学習環境づくりを進めてきました。令和3年度からは、全学年へのGIGAタブレットの導入により、子どもたち一人ひとりが自分の決めた目標に向けて、どのように学習を進めていったらよいのか考えながら学習に取り組むことができる「個別最適な学び」の実現を目指しています。コロナ禍が続いているが、学校に来ることができない時でも、オンライン学習などによって、みなさんの学びが止まらないようにすることができました。

また、令和4年度より、松野学園(富士川第二小中一貫校)のように、小中施設一体型の新しい学校もスタートしました。地域とのかかわりを深め、学校だけではできないことも地域の多くの人々の力を借りて、進めることができます。令和6年度からは、全ての中学校区で小中一貫教育がスタートします。常に新しい時代をしっかりと見つめながら、みなさんがこれから社会を力強く生きていくための力を付けることができる教育が、どの学校でも始まっています。

富士市SDGsポータルサイトでもっと詳しく掲載中



富士市立岩松北小学校 校長

宮川 貴志

富士市今泉に生まれ、ずっとこの富士市で生活しています。中学校では社会科、高校では日本史を教えていました。

岩松北小学校では、ユネスコスクール加盟校として、子どもも大人も持続可能な学校づくりに取り組み、「人にやさしい 人がやさしい 幸せな学校」の実現をみんなで目指しています。



富士山とともに輝く未来を拓くまち
SDGs 未来都市 富士市

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS